

地域の防犯拠点として「子供の駆け込み訓練」を 世田谷区立松沢小学校で開催。OBであるオーナー様も登壇！

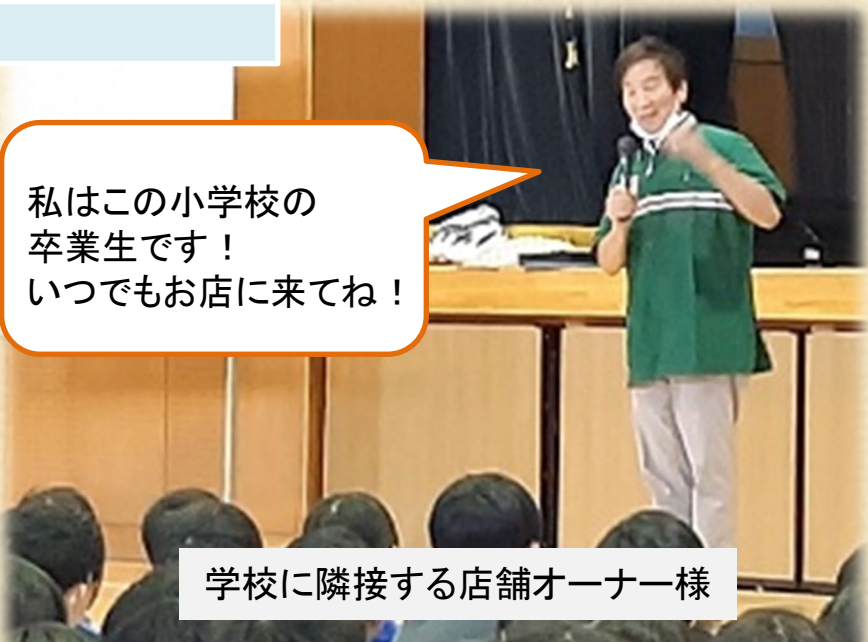
セブン-イレブン・ジャパン（以下：セブン-イレブン）は、地域におけるセーフティ拠点としての活動を子供たちに周知することを目的として、世田谷区立松沢小学校で、警視庁北沢警察署と連携し出張授業を開催しました。授業では疑似体験としての駆け込み訓練を行うと共に、セーフティステーションポスターにまつわるクイズ等を行いました。セブン-イレブンは、今後も学校や行政、地域社会と連携を深め、キャリア教育への支援をはじめ、SDGsの取り組みを推進して参ります。

授業風景



不審者声掛け

私はこの小学校の
卒業生です！
いつでもお店に来てね！



学校に隣接する店舗オーナー様

■世田谷下高井戸店オーナー 安藤 博章 様

世間では子どもが巻き込まれる事件が多く発生している為、タイムリーな内容の授業だったと思います。これまで地域の子供達と関わる機会は何となくなかった為、今回の出張授業を通じて地域の皆さまと関わったことが非常に新鮮に感じました。改めてセブン-イレブンが地域の安全安心を守る役割を担っていることを実感しました。



レジへ駆け込み

■実施日：2023年7月12日（水）

■参加者：小学1・2年生 特別支援学級 計約300名および保護者

警視庁北沢警察署、世田谷区地域生活安全課、加盟店オーナー様、弊社社員

関連情報

